



栃の子だより

No.2

栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉ゆたかな人

須坂市立小山小学校

☆ "たのしい! ありがとう! うれしい! " 小山小に…。 5月も よろしくお願ひします。

4月、始業式・入学式からあつという間に一ヶ月が過ぎてしまいました。あつという間に桜が散ってしまったと思ったら、校庭の栃の木も鮮やかな緑の葉を身につけ、気持ちのよい緑の季節になりました。

新一年生も、給食の準備や掃除にも取り組み、すっかり小山小の子の仲間入りです。各学年・学級でも、進級して張り切って新しい活動や学習に取り組み、落ち着いて学習したり校庭などで元気に遊んだり、よく頑張ってくれています。



1年生の給食の様子
…配膳も上手です。

編成替え等もあり、新しい環境や友達との関わりなど、子どもたちの様子も見ていただいて、何か変わったことやご心配なことがありましたら、気軽に担任や学校までお知らせいただくとありがたいです。お子さん一人一人について、学校と家庭が互いによく知っておくことが大事なことです。よろしくお願ひします。



* * * * *

☆今年度最初の参観日、PTA総会等、ありがとうございました。



ご多用の中、参観日のご来校、大変ありがとうございました。新しい学年でのお子さんの様子はいかがだったでしょうか。授業後の校長の話、PTA 総会、学年・学級懇談と盛りだくさんでしたが、PTA の活動も無事スタートでき、感謝です。それぞれの部や学級 PTA の活動が活性化しますよう、皆様のご協力をお願いいたします。



PTA 総会では今年度の活動等が承認され、前年度の会長松田さんと副会長山本さんに感謝の思いを伝えました。本当にお疲れ様でした。役員の皆様をはじめ PTA の皆様のおかげで小山小が成り立っています。自分のお子さんのことだけではない、誰か他人のために動いてくださる皆さんに感謝です。今年度も、よろしくお願ひします。



PTA総会にて、前年度役員さんに感謝状をお渡ししました。

※PTA総会の前に校長からお話した、小山小学校の今年度、目指したいことやご家庭・地域の皆さんへのお願いについて載せます。＜裏面をご覧ください＞

小山小学校は、明治6年に「止善学校」としてスタートして今年145年目を迎えた伝統ある学校です。「止善」とは、中国の古い『大学』という教えの中の、「至善に止まるに在る」という言葉からとったということで、「ひとつの道を究めるために、人の道を求めてやまず、人生の目的を見つけ理想に向かって一歩ずつ確実に歩み続けること」という教えです。本校の学校教育目標は入り口でお持ちいただいた資料の今年度小山小学校のグランドデザインの一番上にある、『栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉ゆたかな人』です。校章にも栃の木の葉がデザインされ、校庭の栃の木を大事にしていることがよくわかります。この『栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉ゆたかな人』という学校目標はとっても奥が深く味わいのある言葉だなあと感じています。明治14年に植えられたとのことなので、優に100年は超している大木の栃ですが、4月の最初の頃から比べると枝先の芽が膨らんできて、これから青々と葉を茂らせていくのが楽しみです。あいだみつをの書に、『花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ』というのがあります。根は見えないのですが、あの栃の木はきっと、地中深一くにしっかりと根を張っているに違いありません。子どもたち一人一人が未来に向かって、個性豊かに花開き、輝くために、それを支える枝や幹をどう太らせ、茂らせてあげられるか。その“根っこ”の部分育ててあげるのが大人→学校や家庭、地域の大人の役割であろうと考えます。

その“根っこ”となる部分を、小学校ではどうしていくか。小山小学校では今年度こんなふうにしていきたいという全体像が、お配りした資料のグランドデザインに端的にまとめられています。その真ん中あたりに、具体的に何をしていくのかが書かれていますが、縦軸に「よさに気づき 人やものに関わり よろこびをもてる」を、横軸に『あいさつ』『関係づくり』『学びづくり』をおいて、それぞれの具体的な実践を位置づけてあります。

『よさに気づき 人やもの・ことに関わり よろこびをもてる』重点活動として3つあげています。『あいさつ』は、いろんな挨拶がありますが、人と人が出会い、つながり、関わっていくときに大きな位置を占めています。一番の基にしたいところは、今ここに私が生かされているということやご両親はじめご家族の皆さん、近所の人はもちろん、学校の友だちや先生・・・などなど数え切れない多くの人との出会い・つながり・関わりの中で生きている、そのことへの気づきと感謝、そしてそれを伝える自分のあり方・姿だと思っています。なので、その多くの人との関係づくりが大切になってきます。学校の中での多くの場面での関係づくり、人権学習や多くの人との交流、など多様な多くの場面や機会に、多くの人とつながり、関わり、結び合って関係づくりを大事にしていきます。その多くの場面の中でも大切な場が学びの場面、さまざまな学習・授業の中です。興味関心や追究の意欲、体験的な学習や言語活動の充実、情報の収集・活用する学び、自ら考え・動き・創る学び、・・・それらはみんな、今を生き、未来を切り拓いて行く子どもたちにとって大切な力、“根っこ”となっていくものです。こういったねらいや具体的な実践を通して、小山小の子どもたちが『たのしい！ ありがとう！ うれしい！』の合い言葉のもと、『明日も来なくなる小山小』を、子どもたちと共に創っていきたいと思っています。

学校としてはこのように願っているのですが、私たち教職員だけではその実現はなかなかむずかしいところです。保護者・地域の皆さんのお力をいただいで、協力し合い連携し合っていくことがとても大切になってきます。いくつか、お願いやお知らせをしたいと思います。

一つ目は、本校でも昨年度運営委員会ができてスタートしている、信州型コミュニティスクールへのご協力についてです。新しい学習指導要領では、子どもたちが未来を切り拓いていく力を付けるために、探究的な学びと多様な経験、そして地域に開かれたカリキュラムが必要であると言っています。その学びや体験、地域に開かれた学習や教育課程、といっ

たときに大きな役割をしていくのが、この信州型コミュニティスクールです。学校・保護者・地域が協働しながら共に子どもたちを育てていくことが大切です。そこで学校では、様々な学習や行事等で支援のボランティアをお願いしていきますので、時間やご都合に合わせてぜひご協力・ご支援いただくと大変ありがたいです。参加の募集や要請があったときにはぜひお気軽に学校にお力を貸していただけますようお願いいたします。

二つ目は、学力向上に向けてです。県や市では、学力向上に向けた教育予算の事業を進めていますが、小山小でも、学級の人数を少なくするために、6年では30人規模学級になるよう3学級とし、3、5年では少人数学習のための先生を1人つけていただきました。また、今年度から5、6年生は週2時間の英語学習が始まったのですが、上高井の中でも本校を含めて3校に兼務という形ではありますが、英語を専門に教えていただく専科の先生が付きました。さらに須坂市では、2名の教員補助員の先生をつけていただき、子どもたちの学習を支援していただいています。また、先生方も、わかる授業や基礎基本が定着し力をさらに伸ばしたり思考力・判断力・表現力を育てたりするために、教材研究や研究・研修をして、よりよい授業づくりをしようと努力しています。それに加えてとても大事なのが、家庭学習の充実です。その日の授業に沿った学習やそれ以前の復習といった形での家庭学習が多いと思われます。学力の向上には家庭学習への取組がとても重要であることは皆さんもご承知の通りですが、改めて各ご家庭のご協力・ご支援をお願いいたします。これは、須坂市教育委員会から毎年1年生に新しく配られる、家庭学習の手引きです。2年生以上のご家庭には、小・中9年間、家庭で保存していただくようになっています。毎年見直しをしていただいたり、この後の学級懇談会でも担任から改めてお願いしたりしていますので簡単にお話しします。

家庭学習はなぜ必要なのか。エビングハウスの忘却曲線が示すとおり、私たちの脳はひとつの記憶を繰り返し記憶していくことで脳の中にファイリングされていきます。学校で学習したことを、その日に、またある程度時間がたった後に復習することで学習したことが定着されていきます。そしてそのことが習慣化されていくと脳が活性化され、我慢強さや根気、集中力といった大切な力も身に付いてきます。また、家庭学習への取組を通して、家族のコミュニケーションやふれあいの機会ともなることがあります。次に小学校から中学校へ9年間を見通すと、宿題という形で学校から出されるものから中学校では自主学習の割合が増えていかないといけません。時間的には小学校では学年×10～15分が目安となっています。中学校では1時間以上は最低でも必要ですが、それが習慣となっていくには小学校の低学年からの学習習慣ができていかないといきなり中学生になってからではむずかしいです。低学年での習慣化・基盤づくり、中学年での達成感や最後までやり遂げる良さの経験、高学年ではそれを基にした自主学習への取組もできるといいです。ご家庭においては、低・中学年ではよくほめること、高学年になってきたら見守っていただくとともに自主学習への取組へのアドバイスもしていただくとありがたいです。

課題となるのが、時間の確保です。ゲームはしたい、社会体育や習い事もある…。家庭学習の習慣を身につけていくために、その問題が起きてきたときによーくお子さんと話し合うことが大事です。ゲームやスマホのルール・約束がお子さんの納得の上でできるということです。最後のページのグラフにもありますが、ゲームやスマホを2時間以上やっているお子さんの学力が低いのは当然のことです。家庭でしてほしい支援のポイントが3点示されていますが、早寝早起き朝ご飯の生活リズムの確立やお子さんが家庭学習に集中できる家庭での環境作り、頑張っているお子さんへのほめる声かけなど、ぜひご家庭でのご支援をお

願います。

最後に2点、お知らせとお願いです。家庭学習への取組やゲームについての心配ごとも含めて、お子さんについてご心配や不安なこと、悩みごとなど、お気軽にご相談いただければと思います。職員室の教頭や保健室の養護教諭がご相談に応じます。また、月に1回、スクールカウンセラーに来ていただけます。お気軽にお申し出いただければと思います。



4/13、避難訓練で、6年生の消火器の使い方訓練

もう一点は、報道等でも耳にする『働き方改革』に関わってです。私たち教師と医師がよく話題に上がるのですが、私たち教職員の働き方について、資料の③④のように県教育委員会と県内各市町村の教育委員会の協議会、そこに長野県のPTA連合会が連名での共同メッセージが出されて、③にあるような部活動や時間外の対応について、保護者の皆様のご理解をお願いしたいということなのです。須坂市全体でも、以前から週の中で「定時退勤日」を設けて先生方に早く帰るよう促したり、勤務時間の割り振りをして早く帰る日を設定してもらったりといった取組をしてきました。今年度は市全体で、お盆の期間を閉庁日として当番を置かないことを年間の行事予定表にお示ししています。今後、一定時刻以降の電話対応についても須坂市の方針が出てくるものと考えています。大事なことは、目の前の子どもたちのために、教材研究や授業準備などの授業づくり、また授業力・指導力向上のための研修に当てる時間をしっかり確保したいことです。ぜひとも、保護者の皆さん、地域の皆様のご理解・ご協力をいただければ幸いです。

とにもかくにも、職員一同、小山小学校の子どもたちのために精いっぱい努めて参りたいと思っています。どうぞ、皆様のご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆児童会スローガン『友～スーパー仲よしの小山小にしよう！～』

このスローガンのもと、新6年生を中心に児童会の活動がスタートしています。4、5年生を含めて、それぞれの委員会が役割を持って、よりよい学校を目指して活動に取り組んでいます。学校での取り組みの様子をご家庭でも聞いていただけて、励ましていただけるとありがたいです。



4/24、児童総会で

☆4/27には「1年生を迎える会」が開かれました。



6年生を中心に児童会の企画・運営で、全校でゲームを楽しんだりいっしょに「ともだちになろうよ」を歌い合ったりして、和やかな、楽しい会となりました。1年生も一生懸命覚えた校歌を発表してくれ、6年生からブンゴまのプレゼントもあり、楽しい一時を過ごせました。全校のみんなが仲よしになる、たのしい！小山小になりそうです。6年生の皆さん、ありがとうございました。

* * * * * * * * * *

※明日から4連休。5/7～家庭訪問で14:00下校となります。交通安全や帰宅時刻(午後6時)を守る等、安全への注意をお願いします。

